

# 平成 25 年度 教育委員会の主な活動

## ■教育委員協議会

教育行政におけるさまざまな課題の研究や情報収集、喫緊の課題への対応・協議などを目的に、教育委員による協議会を行っています。

- ・第1回(4月24日)
- ・第2回(5月29日)
- ・第3回(6月7日)
- ・第4回(6月28日)
- ・第5回(7月1日)
- ・第6回(7月9日)
- ・第7回(7月10日)
- ・第8回(7月18日)
- ・第9回(7月24日)
- ・第10回(8月28日)
- ・第11回(9月11日)
- ・第12回(10月8日)
- ・第13回(10月18日)
- ・第14回(10月21日)
- ・第15回(11月8日)
- ・第16回(11月22日)
- ・第17回(12月4日)
- ・第18回(12月11日)
- ・第19回(12月18日)
- ・第20回(1月10日)
- ・第21回(1月24日)
- ・第22回(2月7日)
- ・第23回(2月17日)
- ・第24回(2月28日)
- ・第25回(3月12日)
- ・第26回(3月18日)
- ・第27回(3月24日)

## ■新構想高等学校開校記念式典への出席

4月11日 : 静岡市立清水桜が丘高等学校 (マリナート)

4月16日 : 静岡県立駿河総合高等学校 (グランシップ)

静岡県と静岡市は、社会構造の変化に対応した新しい高等学校教育を実現し、活力ある高等学校としての維持・発展をめざすという新たな構想のもと、連携・協力して、静岡県立の2つの高等学校と静岡市立の2つの商業高等学校の計4校を、2つの新しい高等学校として再編成しました。平成25年4月1日に開校した県立駿河総合高等学校と市立清水桜が丘高等学校です。

教育委員は、新しい2つの高等学校の開校記念式典に静岡県の教育委員と共に出席し、新たな門出を祝いました。静岡市立清水桜が丘高等学校については、体育館等の建築工事等が継続して行われています。生徒たちや地域の方の安全をしっかりと確保し、整備の完了を目指します。

## ■統合が検討される小学校への視察訪問

5月20日 : 新通小学校 ・ 駒形小学校

7月 3日 : 安倍口小学校 ・ 美和小学校

子どもたちの良好な教育環境と学校教育の充実を目指して学校規模等の適正化を審議した「静岡市立小学校及び中学校適正規模等審議会」から、4つの小規模小学校について統合を検討するよう答申がありました。

これを受け、学校の現状を見て先生方の声や地域の様子を把握するために、対象となる小学校を訪問しました。

校長先生から学校の様子や取組みなどを伺った上で、施設環境や全てのクラスの授業風景を視察しました。また、子どもたちと一緒に給食をいただきました。

どの学校でも、小規模校ならではの家庭的で温かな空気が感じられ、少人数の学級では丁寧できめ細やかな授業が行われていました。先生方や地域の方々の愛情のもと、子どもたちは生き生きと学校生活を送っています。しかし一方では、少人数でクラス替えができないことによって子どもたちの人間関係が固定化してしまう虞があるなどの小規模校ならではの不安や、地域毎のさまざまな課題も抱えています。

統合については、それぞれの学校の現在の良さを失うことなく、より一層充実した教育環境を構築できるよう、検討を重ねる必要があると改めて感じました。

### 【新通小学校】



### 【駒形小学校】



### 【安倍口小学校】



## 【美和小学校】



## ■静岡県・浜松市の教育委員との意見交換会（6月6日：静岡市役所）

様々な教育課題に取り組むには、関係機関が互いを理解し、情報を共有し、連携することが重要です。そこで、静岡県と浜松市の教育委員会に呼びかけ、教育委員17人全員の参加を得て、意見交換を行いました。

テーマは、「学校・家庭・地域の連携について ～教育委員会はどう支援するか～」です。変化の激しい社会において、子どもたちの健やかな成長には、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら連携し、地域全体の教育力を高めていく必要があります。また、学校は子どもたちだけでなく地域住民の心の拠りどころであり、学校には「地域の核」として、常に「地域とともにある」という姿勢が求められます。

意見交換会では、3つの教育委員会からは、それぞれの取組を紹介し合っ情報共有したほか、地域が参加しやすい仕組みづくりやコミュニティ・スクールなどについて、意見を交わしました。



## ■学校評議員会への参加（6月26日：葵小学校）

葵小学校の第1回学校評議員会及び学校関係者評価委員会に参加しました。校長先生から葵小学校が目指す子どもの姿やそのための取組について伺った上で、学校関係者評価委員（評議員とPTA会長）の皆様とともに、子どもたちの授業を参観しました。

葵小学校は、旧青葉小学校と旧城内小学校の統合によって平成19年4月に開校した、静岡市で最も新しい市立小学校です。明るく広々とした恵まれた施設環境と1学年3クラスの適正な教育の規模において、先生方の熱心な指導のもと、子どもたちは元気に授業を受けていました。

会議では、評価委員である地域の皆様から、学校への愛情や思いを伺い、学校の運営には、地域の支えが重要な役割を果たしていることを、改めて感じました。



## ■教育委員会の事業についての点検と評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理や執行の状況について点検と評価を行うこととされています。静岡市教育委員会では、静岡市教育振興基本計画から選定した42の事業一つひとつの取組み内容を点検・評価し、課題の洗い出しや次年度の目標設定を行いました。24年度は計画の中間年度にあたることから、進捗状況の確認も行いました。

また、8月15日には、教育に関する学識経験者2名との意見交換を行いました。学識経験者からは、より効果の高い点検・評価のあり方などについて、専門的な視点からのご意見をいただきました。

### 【ご意見をいただいた学識経験者】

常葉大学大学院 初等教育高度実践研究科 教授 安藤 雅之 氏

静岡大学大学院教育学研究科 教授 武井 敦史 氏



## ■静岡市長との懇談会（9月4日：静岡庁舎）

田辺信宏静岡市長と、「第3次静岡市総合計画と次期教育振興基本計画」、「子ども・子育て支援新制度」の2つをテーマに掲げ、懇談会を行いました。

市長からは、市民の皆様の共感を得られるようなわかりやすい第3次静岡市総合計画を作りたいという思いが語られ、次期教育振興基本計画は教育委員が一心同体となって方針を打ち出し、静岡らしさが全編からあふれ出るような計画にしてほしいという希望が伝えられました。教育委員会からは、わかりやすい計画をわかりやすい形で提供することの大切さや、教育委員会が考える子どもたちの理想の姿を積極的に打ち出していきたいという思いを市長に伝えました。子ども・子育て支援新制度については、課題などについて意見を交わし、市長部局と教育委員会事務局が連携し、それぞれの役割を果たしていくことの重要性を確認しました。

この他にも、「地域とともにある学校」という視点から、現在実施している学校応援団推進事業や、研究中のコミュニティ・スクールについても話し合いました。市長からは、静岡市型のコミュニティ・スクールについては、現実を踏まえた具体的な姿を教育委員会できよく議論してほしいという御意見や、学校応援団の推進についての励ましの言葉をいただきました。



## ■清水区小・中学校なかよし体育大会を参観（10月4日 清水総合運動場）

清水区の小・中学校の特別支援学級の子どもたちが一堂に会して行う体育大会を参観しました。子どもたちは赤白の2チームになって、かいっぱい競技に取り組むとともに、他校の友達も大きな声で応援し、大会を楽しんでいる様子でした。この大会は、関係校の校長先生方全員が実働部隊となって、運営を支えておられます。

教育委員は、開会式から参加して、子どもたちと一緒に準備運動をし、最後まであきらめずに頑張る子どもたちに声援を送りました。



## ■静岡市長との懇談会（10月21日：清水庁舎）

「子ども・子育て支援新制度」について、子ども未来局と教育委員会事務局の職員も同席の上、田辺信宏静岡市長と、より具体的な内容での意見交換を行いました。これは、9月4日の懇談会の場で市長からご提案いただいて、実施の運びとなったものです。

子ども未来局及び教育委員会事務局から、新制度への移行スケジュールや作業の進捗状況、関係機関の意向等が説明され、静岡市立の幼稚園や保育所の今後の方向性や課題について話し合いました。また、市内の未就学児の9割以上を受け入れている私立幼稚園への支援や民間の保育園の動向、待機児童の解消等についても、意見を交わしました。

## ■静岡市PTA連絡協議会・静岡市校長会との意見交換（10月21日：清水庁舎）

「子どもたちの学力向上」について、教育委員会・学校・保護者が思いを一つにして取り組んでいくために、顔を合わせ、意見を交わしました。学力の向上には、学校・家庭・地域の連携が重要であることや、子どもたちの日常生活や家庭学習が学力に大きく関係していることを、確認しました。

これからの学力向上に向けた取組みについて、

- ・学校・家庭・地域が、相互理解と情報共有に努める。
- ・学校は保護者に積極的に情報を提供し、不安の解消や信頼関係の向上に努める。
- ・静岡市が行う「問題解決型」の学びを大切にしながら、学力・学習状況調査にも対応できるよう、全国のスタンダードと静岡市のスタンダードの両輪のバランスを図る。
- ・保護者は、生活習慣や家庭学習などにおいて、より具体的に子どもたちと関わりを持つよう意識する。

を共通の認識とし、それぞれの立場から具体的に行動に移していくこととしました。



## ■三鷹市コミュニティ・スクールの視察（10月31日：東京都三鷹市）

現在、清水江尻小学校において、地域の皆様とともに、静岡市としてのコミュニティ・スクールのあり方を研究しています。実践校の取組みを拝見し、その街の教育委員会の考え方を直接聞かさせていただくため、コミュニティ・スクールの先進市である東京都三鷹市を訪問しました。清水江尻小学校の校長先生や、学校運営協議準備会の委員長にもご同行いただきました。

## (1)実践校の視察（おおさわ学園）

「おおさわ学園」は、三鷹市立の羽沢小学校・大沢台小学校・第七中学校の3つの小中学校が一体となったコミュニティ・スクールです。目指す子どもの姿を、「学び続ける人・心身ともにたくましい人・心豊かでともに生きる人」と掲げ、小中の9年間を見越した子どもたちの育成に、地域とともに取り組んでおられました。学校運営協議会は、学校経営や予算、人事についての承認、学校評価、地域行事等への参加など地域連携についての役割を担っているとのことでした。



## (2)三鷹市教育委員会への訪問

三鷹市では、自治基本条例に「教育委員会は、地域と連携協力し、保護者、地域住民等の学校運営への参加を積極的に進めることにより、地域の力を活かし、創意工夫と特色ある学校づくりを行うものとする。」と謳って、コミュニティ・スクールを推進しています。

教育委員会を訪問し、コミュニティ・スクールのパイオニアである貝ノ瀬滋教育委員長から、導入の仕組みづくりについてご経験に根付いた具体的な工夫を教えてくださいました。三鷹市では、小中連携とコミュニティ・スクールを同時に推進し、教員の負担軽減を図りながら、地域に開かれた学校づくりを推進しておられます。学校づくりと地域づくりを両輪として進める重要性を、改めて確認しました。



## ■清水江尻小学校（コミュニティ・スクール研究校）の視察訪問（11月16日）

教育委員会の指定を受け、静岡市のコミュニティ・スクールのあり方を研究している清水江尻小学校を視察しました。

この日は、音楽発表会が行われており、保護者の皆様をはじめ地域の方もたくさん参観にいらしていました。その後、コミュニティ・スクールの研究を行う学校運営協議準備会に参加させていただき、研究の進捗状況を伺うとともに、委員の皆様と意見を交わしました。

準備会では、「学習」・「安全」・「活動」・「環境」の4つの部会から、それぞれの取組みや課題を発表し合って情報を共有し、連携を強めていました。山下校長先生からは、子どもたちを中心として、学校や保護者、地域にある様々な団体などが互いに引き合って結束する「地域ファミリー」を作ろうというお話がありました。

準備会が大変熱心に研究に取り組んでおられる姿から、清水江尻小学校が静岡市の学校の大きな先駆けとなることを感じました。



## ■研修指定実践発表会の視察(11月25日:東中学校、12月5日:大里東小学校)

研修指定校の公開授業を視察し、子どもたちが生き生きと学ぶ姿を参観しました。

研修指定校では、テーマに応じて研究し、その実現に取り組んでいます。今年度は、東中学校では「仲間とのかかわりあいを通して輝く生徒 ～判断・思考・表現力を付けるための言語活動～」をテーマに、8つの教科で取組みの成果を発表しました。また、大里東小学校では「子どもが追究する必然性のある学習課題(問題)のあり方」をテーマに、3年生の国語の授業を公開しました。

事後研修も含めて約3時間の発表会には、教育委員や指導主事、校長先生方をはじめ、多くの教員が参加しました。

### 【大里東小学校】





## ■静岡大学大学院との意見交換（1月15日：静岡大学大学院）

駿河区大谷の静岡大学で、大学院の武井敦史教授ほか先生方や院生の皆様と、教育課題についての意見交換を行いました。

今回は、喫緊の課題である「学力向上」と「いじめ対策」の2つのテーマを設定し、「誠意を持って本音で話す！」を合言葉に、2つのグループに分かれて少人数でディスカッションを行い、その後、各グループから協議の内容を報告しました。院生の皆様からは、現場の視点からの率直な意見を伺いました。

「学力向上」については、教育委員会の施策や学校での工夫のほかに、地域の大学生などの協力を得ることなどの意見がありました。また、「いじめ」については、教員間のコミュニケーションを促進して、学校現場がチームとしていじめの解決に取り組むことの重要性や、スクールカウンセラーをより効果的に活用するにはどうしたらよいかなどについて話し合いました。

